



第 685 回 日本小児科学会東京都地方会講話会 プログラム

日 時： 2022 年 10 月 8 日（土）午後 2 時 00 分

来場開催会場： アットビジネスセンター八重洲 501 号室

ライブ配信 URL：

<https://nihon-u-ac-jp.zoom.us/j/82454063089?pwd=d3h1cXVpeUo3dEdmWlJ6b3Fuc0l2Zz09>



ミーティング ID：824 5406 3089 パスコード：340902

参加方法	参加費	教育講演受講単位及び 学術集会参加単位について	備 考
来場参加	500 円	小児科領域講習 1 単位（iii 貼付用） 学術集会参加単位（iv -B 貼付用）	* 単位を取得するためには教育講演全ての聴講が必要（60 分）
WEB 参加	無 料	単位配布のご用意はございません。	



【会場アクセス】

■ JR 東京駅（八重洲口）より徒歩約 10 分

■ 日比谷線 八丁堀駅より徒歩 2 分

※日比谷線八丁堀駅（A5 出口）

アットビジネスセンター八重洲 501 号室

東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通ハタビル 5・6 階

※建物の外観：ガラスカーテンウォール

※看板表記：ABC conference room

【東京都地方会】

会 長：森岡一朗（日本大学医学部小児科主任教授）

主幹校：日本大学医学部小児科 担当：岡橋 彩

事務局：佐藤企画 佐藤貴志

当日緊急連絡先：佐藤企画（TEL048-706-7196）

東京都地方会 HP：<https://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/>



第 685 回日本小児科学会東京都地方会講話会プログラム

(1 題 6 分、指定発言 5 分、追加討論 3 分以内厳守のこと)

《プログラム係 帝京大学 小児科 伊藤 直樹》

開会あいさつ 14:00 – 14:05 森岡 一郎 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

第 1 グループ 14:05 – 14:25 座長: 下田 木の実 (東京大学医学部小児科)

1) 視神経炎を呈した抗 MOG 抗体関連疾患の 1 例

○中野 英太郎、森地 振一郎、岡田 このみ、中澤 はる香、林 佳奈子、竹下 美佳、呉 宗憲、
小穴 信吾、山中 岳

(東京医科大学 小児科・思春期科学分野)

11 歳男児。眼痛と視力低下で受診。既往に ADHD あり。眼底検査と脳 MRI 検査から視神経炎と診断し、ステロイドパルス療法を行い視力は回復した。血液検査で抗 MOG 抗体が陽性となり、同抗体関連疾患の確定診断を得た。現在再発はないが、本疾患は視力予後が良好なもののステロイド依存性に再発寛解を繰り返す症例もあり今後の経過に注意が必要である。

2) Sotos 症候群との鑑別が困難であった PPP2R5D 遺伝子変異の 1 例

○野竹 慎之介^{1) 2)}、大場 温子^{1) 2)}、野々山 葉月^{1) 2)}、和田 靖之^{1) 2)}、日暮 憲道²⁾、大石 公彦²⁾、
大橋 博文³⁾

(東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科¹⁾、東京慈恵会医科大学小児科学講座²⁾、埼玉県立小児医療センター遺伝科³⁾)

2 歳男児。乳児期から筋緊張低下、発達遅滞、頭囲拡大を認め、疾患エキソーム解析で PPP2R5D 遺伝子変異を認めた。PPP2R5D 遺伝子変異は Sotos 症候群と症状の類似点が多く、相違点として過成長がある。過成長を伴わない大頭症の症例では、PPP2R5D 遺伝子変異を考慮する必要がある。

第 2 グループ 14:30 – 14:50 座長: 占部 良介 (帝京大学医学部小児科)

3) SARS-CoV-2 感染により意識障害を呈した 1 例

○平松 直子、三森 愛美、新井 喜康、中村 明雄、仲川 真由、稲毛 英介、神保 圭佑、
遠藤 周、安部 信平、鈴木 光幸、春名 英典、藤村 純也、清水 俊明

(順天堂大学小児科)

鞍上部未熟奇形腫術後で当院通院中の 19 歳女性。発熱と意識障害とを主訴に救急搬送され SARS-CoV-2 PCR が陽性を示した。頭部 MRI で多発する高信号域を認め、COVID-19 による中枢神経障害と診断し、ステロイドパルス療法を施行し症状は改善した。SARS-CoV-2 は神経向性があり中枢神経症状の評価は重要である。

4) 先天性筋強直性ジストロフィーに合併したけいれん重積型二相性急性脳症の男児例

○中村 有梨沙¹⁾、布施 譲嗣¹⁾、山内 泰輔¹⁾、岡田 広²⁾、水野 朋子¹⁾、森尾 友宏¹⁾

(東京医科歯科大学小児科¹⁾、松戸市立総合医療センター小児集中治療科²⁾)

7 か月男児。出生後の低緊張と呼吸障害から先天性筋強直性ジストロフィーと診断され、夜間のみ BiPAP を使用していた。下痢と発熱の後にけいれん重積を認め、けいれん重積型二相性急性脳症、アデノウイルス腸炎と診断し加療したが、重度の退行、難治性てんかんを残した。脳症の重症化と原病との関連について文献的考察を交えて報告する。

感染症だより 14:55 – 15:15 (講演: 15 分 + 質疑応答: 5 分)

座長: 和田 紀之 (和田小児科医院)

講師: 森野 紗衣子 (国立感染症研究所感染症疫学センター)

教育講演 15:20 – 16:30 (講演: 60 分 + 質疑応答: 10 分)

「日本において発症頻度が高いシトリン欠損症についての最新の知見」 小児科領域講習 1 単位

座長: 窪田 満 (国立成育医療研究センター総合診療部)

講師: 大石 公彦 (東京慈恵会医科大学小児科学講座)

シトリン欠損症は肝臓のミトコンドリア内膜に局在するアスパラギン酸・グルタミン酸輸送体 (シトリン) の機能喪失によって起こる日本では発症頻度の高い遺伝代謝性疾患です。乳児遷延性黄疸、低血糖症、成人期の高アンモニア血症、高炭水化物食を回避する特徴的な食癖などの多彩な症状を呈することが知られていますが、それらの詳細な発症機序は未だ不明です。今回、このシトリン欠損症についての最新の知見についてお話し致します。

* * 休 憩 16:30 – 16:40 * *

第3グループ 16:40 – 17:00 座長: 蔵本 怜 (帝京大学医学部小児科)

5) 血漿交換治療後に再燃し巨大冠動脈瘤を生じた難治性川崎病の1例

○池田 太郎、板橋 寿和、上岡 由奈、橋本 佳亮、田辺 雄次郎、渡辺 誠、深澤 隆治、伊藤 保彦
(日本医科大学小児科)

11 か月男児。難治性川崎病にて 4th line として血漿交換を施行後解熱、炎症反応も改善し冠動脈病変出現なく経過していた。しかし 27 病日に再発熱、心臓超音波検査で左右冠動脈瘤を認め、巨大瘤へと進展した。本症例では炎症反応の完全な陰転化が得られず、川崎病が再燃した。難治性川崎病では完全に炎症が消退するまで注意深い観察が必要である。

6) DKA を契機に QT 延長症候群と中枢性甲状腺機能低下症の合併が明らかとなった 1 型糖尿病の女児例

○多村 公晃、竹内 博一、藤賀 由梨香、馬場 俊輔、木村 妙、宮田 市郎、大石 公彦
(東京慈恵会医科大学小児科)

2 歳女児。DKA による入院を契機に 1 型糖尿病だけでなく、QT 延長症候群と中枢性甲状腺機能低下症も伴っていることが判明した。これまでに 1 型糖尿病に QT 延長症候群あるいは中枢性甲状腺機能低下症を合併した報告例は散見されるが、これら 3 疾患を同時に診断し得た症例は極めて稀である。若干の文献的考察を加え報告する。

第4グループ 17:05 – 17:25 座長: 千葉 有美子 (東京大学医学部小児科)

7) 肝外門脈閉塞症による汎血球減少を合併した 1 型糖尿病の小児例

○亀山 まどか¹⁾、中野 さつき¹⁾、佐藤 武志¹⁾、富田 健太郎¹⁾、喜納 陽子²⁾、山岸 徳子³⁾、
前田 悠太郎^{3) 4)}、山田 洋平³⁾、富田 雄一郎⁵⁾、石井 智弘¹⁾、黒田 達夫³⁾、長谷川 奉延¹⁾、
高橋 孝雄¹⁾

(慶應義塾大学医学部小児科学教室¹⁾、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児内分泌・代謝内科²⁾

慶應義塾大学医学部小児外科学教室³⁾、東京都立小児医療センター外科⁴⁾、東海大学医学部付属八王子病院小児科⁵⁾)

10 歳で 1 型糖尿病と診断された女児。診断時に汎血球減少を認め、自己免疫疾患を疑ったが診断に至らなかった。12 歳時に吐血を契機に肝外門脈閉塞症と診断、門脈圧亢進症に伴う脾腫が汎血球減少の原因と判明した。1 型糖尿病と肝外門脈閉塞症の関連は不明である。ある疾患の経過が非典型的な場合には他の病態の合併も念頭にいれる必要がある。

8) 学校検診にて尿糖を指摘された糖尿病の家族歴のない若年発症成人型糖尿病 (MODY) 3 の症例

○渡邊 勇太、寺田 啓輝、岩間 元、田邊 聡美、峯 佑介、市野井 那津子、鈴木 潤一、
石毛 美夏、森岡 一朗

(日本大学小児科)

若年発症成人型糖尿病 (MODY) は単一遺伝子変異により発症する常染色体顕性の糖尿病である。今回、家族歴のない MODY3 の症例を経験したので報告する。10 歳女兒。学校検診で尿糖陽性、経口ブドウ糖負荷試験にて糖尿病の診断に至った。インスリン分泌能の軽度低下および膵島関連自己抗体陰性を確認し、遺伝子検査で HNF-1A 変異を認め、MODY3 と診断した。

会員の皆様へ事務局より重要なお知らせ

【年会費納入について】

先日、会員の皆様に新会員システム【学会バンク】利用開始のお知らせを郵送致しました。新システムに移行したため、オンライン上で会員情報をご登録頂き、年会費の納入をお願いします。

2022 年度のお支払いは 2022 年 12 月末日までにお手続きお願いいたします。

- * ホームページから会員ログインして頂きますと、【学会バンク】ページに自動に切り替わり、会費納入状況が確認できます。ご自身で確認頂き、未納分のお支払いをお願いいたします。
- * 3 年間未納の場合、自動退会となりますのでご注意ください。
- * 今後の会員登録事項変更等についてもマイページより各自お手続きお願いいたします。

【講話会プログラムのペーパーレス化について (講話会プログラム郵送の中止)】

ホームページリニューアルに伴い 687 回 (2023 年 1 月) 講話会よりプログラムはホームページから各自ダウンロードして頂きますようお願い致します。メールアドレス登録をいただいている方にはメールにてプログラムをお送りいたします。引き続き郵送をご希望の場合は、事務局までご連絡をお願いいたします。現時点ではサービスの予定ですが、今後は有料化する可能性がございます。

【メールアドレスご登録のお願い】

学会ホームページにて会員登録ページよりメールアドレスのご登録をお願いいたします。

上記にてご案内しておりますとおり、講話会開催案内 (プログラム) 及び年会費納入のお願いなど、今後ご登録メールアドレス宛にメールにてお知らせさせていただく予定です。

メールアドレスのご登録がお済でない方は別紙【東京都地方会】会員メールアドレスご登録のお願いをご確認いただき、お手続きいただきますようお願いいたします。

そのほか、ご不明な点がございましたら事務局までご連絡をお願いいたします。

【次回以降開催予定】 2022 年 12 月 10 日 (土) 来場 (アットビジネスセンター八重洲) + ライブ配信
2023 年 1 月 14 日 (土) 来場 (アットビジネスセンター八重洲) + ライブ配信
2023 年 2 月 18 日 (土) 来場 (アットビジネスセンター八重洲) + ライブ配信

【事務局】 佐藤企画 佐藤貴志 (TEL: 048-706-7196)

jpstokyo-office@ab.auone-net.jp

東京都地方会 HP: <https://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/>



演題募集中!

登録方法などは詳しくは東京都地方会ホームページをご確認ください。